

令和6年度神奈川県

企業・NPO・大学パートナーシップミーティング

in 藤沢～ワカモノと考える湘南のSDGs～



株式会社藤沢ミシン商会

代表 小野田 努





(株)藤沢ミシン商会

藤沢ミシン商会のご紹介



創業

明治45年創業
(創業110年以上)

商品

家庭用ミシン
工業用ミシン
特殊ミシン
手芸材料
手芸小物等販売

店舗

藤沢店
平塚店
横浜西口店
(神奈川県最大規模ミシン専門店)

藤沢ミシン商会の
ポリシー

新しいものだけでなく、現在愛用のミシンを修理する事も可能です。ミシンの修理を頼んで、ミシンを買わされた事はないですか？当店では、押し売りは致しません。使い慣れたミシンをいつまでも大事に使っていただけたらと考えております。一級縫製機械整備技能士が責任を持って修理いたしますのでメンテナンスも万全です。



一般社団法人 4 Heartsとの取り組み

■ 藤沢ミシン商会の取り組みへの考え

- ・ ミシンの購入者は聴覚障害者も多いので、新しい取り組みとして検討してみたいと思った
- ・ スタッフは筆談が得意であった
- ・ 手話通訳ができるスタッフがいる
- ・ LINEなどで文章で相談できる機会を設けている

■ 記事本文より

藤沢駅北口エリアの商店街（藤沢銀座土曜会・柳通り睦会・遊行通り4丁目商店街・遊行通5丁目商店会）の一部店舗は、「かながわボランティア活動推進基金21」の採択事業として神奈川県と一般社団法人4Heartsが協働して行う、情報コミュニケーションバリアの解消に向けた音声認識機器の実証事業に協力します。



ホーム	横浜	川崎	相模原・東京多摩	県央
-----	----	----	----------	----

藤沢版

公開：2024年8月16日



藤沢駅北口商店街

聴覚障害のバリア解消へ

音声認識機器で実証実験

【社会】

藤沢駅北口にある商店街の一部店舗で、話した内容をAI技術を用いて自動で文字変換し、

コミュニケーションを助ける音声認識機器の実証実験が今月から始まった。社会課題の解決に主体的に取り組むボランティア団体などの活動を支援する「かながわボランティア活動推進基金21」の採択事業として、県と（一社）4Hearts（茅ヶ崎市）が協働で実施。耳が聞こえない、聞こえにくいなどの理由で日常生活に困難を抱える人に、協力店舗に設置された機器を利用してもらう。アンケート結果を分析した上で、情報伝達や意思疎通のバリア解消への取り組みに役立てたい考えだ。9月30日（月）まで。



音声認識機器を使って対面で会話する小野田社長。透明なディスプレイにスムーズに文字が表示される

「同じ瞬間に笑い合える社会に」



ミシンがSDGsの推進を、かげで支えています

パートナーのような関係でSDGsを支えている藤沢ミシンの存在についてご紹介



パタゴニア 様

リペアとSDGs

"We're in business to save our home planet" - 「私たちは、故郷である地球を救うためにビジネスを営む。」

(パタゴニアのミッション・ステートメント)

私たちが地球のためにできる最善のことのひとつは、モノを長く使いつづけて私たちの全体的な消費を減らすことです



Re Sail Factory 様

ヨットの帆をアップサイクル

産業廃棄物になってしまうヨットの帆、海系水辺系の道具など、なんでも再生しアップサイクル。
リセイルバッグの制作販売とワークショップの開催。

*「ズブの素人が絶対縫えるようになるミシンください！」と、当時一番高価な家庭用ミシンを購入して、リセイルファクトリーは始動しました。(ウェブサイトより)



株式会社藤沢ミシン商会